伊藤博芳96歳、始動

3面



発達凸凹向けフリーペーパー 第18号:2022年05月05日発行 編集長:家森 謙 Ponteとやま(みやの森力フェ) 富山県砺波市宮森303 電話:0763-77-3733 メール:miyanomori.ponte@gmail.com 「Ponteとやま facebook 検索内



みやの森カフェ、

暖かくなってきました!カフェも窓を開けたり、ウッドデッキでくつろいだり、外の空気も入ってのびのびした 気分になれます。カフェの営業日ではない日も、若者たちと小学生、中学生でにぎやかになってきました。

特に春休みなどは、学校に行っている子も行っていない子もごちゃまぜ。私が買い物から帰ってくると、 すごい勢いで庭で鬼ごっこをやっていったりする。律儀に中2男子が、「加藤さんもやる?」って誘ってくれる。 「いやいやいや、遠慮しておくわ」この中2男子は、新しく来た人にも「やる?」って聞いてくれる。 今日初めて来た子たちも必死に走り回ってる。いい風景です。

Mèli-Mèloのケーキ、クッキーも好評です。卒業祝いに、お礼にとたくさん注文してくださる人が 増えてきました。「さくっ、ほろっ」がたまらない!そう言ってくださる人もいます。 そして毎回新たなケーキやクッキーが登場しています。

昨年の今頃はどうだったかなあと思いを巡らせる。昨年はまだ出会っていない子どもたちや若者たちが 今笑顔でここにいる。想像もできなかった素敵なお菓子がカウンターで売られている。 今たいへんな思いをしている人たちにもほっとできる未来が訪れてほしいと願わずにはいられません。













みやの森通信バックナンバーはこちら↓

Ponteとやま フリーペーパー

Ponteとやま全体案内はこちら↓

Ponteとやまり検索内



ホイホイ来るやつは飛んだり登ったりで管理しにくいんです・・ タカチ動物園特別編 ~ゴキブリ~

これまでタカチ動物園では蜂、百足、熊や蛾など一般的に危険だったり、 気持ち悪かったりとされる生き物に焦点をあて、生態や魅力について 独自の視点で伝えてきた。

寄稿文も11話目になり、ついに**ゴキブリについて書く**。 ところが書けない。切り口が多すぎてどうアプローチしてよいか わからない。そこで今回はタカチ動物園で餌として養殖している レッドローチという餌用の市販ゴキブリについて書くことにした。 どのように紹介しているか、講演会スタイルで書いてみる。

カエルの餌はなにかわかりますか?そう、生きている昆虫です。 それではここに生きている昆虫を用意しました。僕が丹精込めて 飼育しているゴキブリです。(軽い悲鳴)

気持ち悪いかもしれませんが、このゴキブリはペットの餌用として 市販されています。これだけいるとおよそ1,000円位になるでしょう。 最近ではペットショップだけでなく、某ホームセンターや某大型 ショッピングセンターでも購入できます。なので、映画を見て、 スイーツを食べ、ウィンドウショッピングを楽しんだ後にゴキブリを 買って帰ることができます。くれぐれもこの順番を間違えないでください。 でないとバイオテロになってしまいます。

このようにローチ(※1)とお金と結びつけることによって、 ローチ=気持ち悪いと思わせない実に巧妙な計算となっている。 冷たい氷水の入ったたらいに足を浸し、1分耐えることができない人でも 札束を渡して数えさせたら、足の冷たい感覚が麻痺し、1分以上余裕で 足を浸すことができるという。原理は同じだ。

でもなんでわざわざローチを養殖するのか?餌用の昆虫ならコオロギ だって売っている。なるほど、一理ある。だがローチはコオロギと 比較し、①共食いをしない②過密に飼育できる③飢えに強い ④繁殖力が高い⑤臭わない (コオロギはアンモニア臭がする) ⑥鳴かない⑦跳びはねない⑧栄養価が高い⑨嗜好性が高い ⑩ペットを傷つけない などと10利以上の利点がある。

タカチ動物園でローチをトカゲ、カエル、ムカデ、クモなど

昆虫を食べる生き物の餌として与えており、人気企画のヒキガエルのモグモグタイムにおいても 大きな役割を担っている。過去に何度も行っているモグモグタイムではあるが、あるとき一人の少女が、 「カエルに食べられてゴキブリがかわいそう」と言った。とても驚いた。そして感動すら覚えた。 これこそが『一寸の虫にも五分のスピリット』であり、動物愛護なのだといえる (続く?)

※1:ローチ:ゴキブリの別称。ちなみに、レッドローチの正式名称はトルキスタンコックローチ

広告募集。みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、

0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へ連絡を





1カップに約80匹入ってます





この写真のどこかに 餌用飼育動物が潜んでます

Ponteとやま フリーペーパー | 検索点

Ponteとやまり検索点



Ponteとやま facebook 検索点



アドバンス北陸



ほっとなみカフェ(砺波市委託事業)って、何やってるの?

みやの森カフェは、ほっとなみカフェ(砺波市委託事業)を毎月第3土曜日(8、9月だけ別日) に開いています。本来は「認知症カフェ」なのですが、ここもみやの森名物「ごちゃまぜ」。 高齢者から、介護しているご家族、若者、子どもいろんな年代、状況の人が参加しています。

ほっとなみカフェでやっているのは 1) カフェ保健室[毎回開催] 2) 臨床美術[隔月開催]

 カフェ保健室を毎回やってくれているのは、 看護師であり、社会福祉士でもある、江畑美由紀さん (えばちゃん)。相談だけでなく、楽しい企画を 用意してくれています。

地域の中で気軽に専門職に相談できる場所。 それがカフェ保健室です。お茶を飲みながら、体や心の 困りごと、認知症の相談、介護の相談ができます。

カフェ保健室の専門職の仲間には、薬剤師、歯科衛生士、 理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士がいます。 それぞれの専門性を活かしながら、様々な勉強会や 相談会を企画しています。とても優しい専門職が そろっています。心身ともに健やかに暮らしていける よう、これからも皆さんのそばにいたいと思います。

カフェ保健室 看護師・社会福祉士 江畑 美由紀

一方、隔月に開くのは、2) 臨床美術 渡邉恭子さんたち臨床美術士のすてきなリードで 初めての人も楽しむことができます。 今年度も楽しい企画満載です。





臨床美術は、独自のプログラムに沿って作品を創作するアート活動です。

いきいきとした思いが表現に現れ、日常生活に紛れて希薄になる自己意識が湧き上がります。

- 1.描くこと、つくることが楽しく身近になります 2.会話が楽しくなります
- 3.思いつきがよくなります 4.感覚がわくわくし、日常生活に張り合いができます
- 5.脳がいきいき、心がすっきりします。

皆さんとこの時間を楽しみたいと思います。よろしくおねがいします。 臨床美術士 渡辺 恭子

2022年度 ほっとなみカフェ atみやの森 13:00~17:00 (臨床美術・イベントは14時スタート)

4/16 臨床美術&何でも相談(既開催)

5/21 万華鏡を作ろう

6/18 臨床美術&何でも相談

7/16 漢方薬のお話

臨床美術&何でも相談 8/6

9/11 庄東センターに出張カフェ

| 10/15 臨床美術&何でも相談

|||/||9||おいしいコーヒーを淹れてみよう

| 12/17 臨床美術&何でも相談

2/18 臨床美術&何でも相談

3/18 介護保険のお話

Ponteとやま最新状況はこちら↓

Ponteとやま facebook



Ponteとやま全体案内はこちら↓

Ponteとやまり検索点



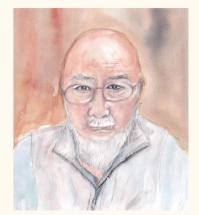
96歳 つれづれエッセイー連載をめざしますー

伊藤博芳(カフェのお父さんとよばれて)店主加藤愛理子の父です

「思えば遠くにきたもんだ」これが今の私の心境です。

月日の経つのは早いもので静岡から転居して13年、 射水、砺波と移り、今の私があります。帯同した妻も愛犬メイ(ヨーキ)も今はおりません。家内にさきに逝かれるとは思いもしませんでした。妻もそう思っていたはずです。口喧嘩をしたとき、妻は「そんな憎まれ口をたたくと老後の面倒はみませんよ」と言われたものです。今はなつかしく思い出すだけです。

愛犬メイはある日外出先でどうしたことか見失ってしまいました。 驚いて探しまわりましたが、幸運なことにリードを引きずりながら 駐車場の方向に駆けていく姿をみつけ、大声で呼び戻したことが あります。いまもあの世で私を探しているのじゃないかなと思うことがあります。



自画像

しかし、カフェが出来たおかげで私は孤舟を免れております。今はカフェの一隅で心を込めた コーヒーを味わいながら、仲間を眺め、心安まるひとときを過ごしております。

編集長家森の 道 道なき道を切り開くのは

▼最近、非定常な対応を迫られた事があった。定常対応とは違い、決まった流れ/ルールは無い。あなたならどうする?▼欠かせないのは迅速な報告/連絡/相談。見える化しないと周りに困りごとは伝わらない。何に困っているか?ボトルネックは何か?それは時間/人手が有れば解決できるのか違うのか?日常的な報連相の積み重ねという鍛錬が要る▼機動的軌道修正も不可欠。二転三転空転当たり前。デッドラインは迫る。手遅れなら解決へのハードルは上がる。「何かは起きる」を前提に、急な対応に備え、別件は出来るだけ前倒し対応。気は抜けない▼日頃からの地道な積み重ねが物言う話でもある。今何をしていて、それはどれだけの時間が掛かるか?予想しながら結果と照合してその差分を改善する積み重ねが、求められた時の迅速かつ数字に裏打ちされた見える化に繋がる



▼一番大事なのは協力者との心と心の繋がり。繋がらなければ、助けてもらえる確率は減るのだから。



建築物の内外の衛生的環境を 確保し、ビルを利用する全ての 人々に衛生的で快適な空間の 提供を目指します。

スタッフ大募集<u>(特に南砺市!)</u> 電話かホームページの お問合せフォームへ

快適空間の創造を目指して・・ 株式会社アドバンス北陸サービス Tel 076-295-7040 http://www.advancehokuriku.co.jp

ADVANCE Hokuriku Service

アドバンス北陸

検索バ

次はあなたの広告募集。みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、

.

0763-77-3733(みやの森カフェ) 、miyanomori.ponte@gmail.com へご連絡を